

授業科目名	子どもと健康			科目コード	K1201L11
英文名	Children and Health				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	5限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身に付ける。幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達などにおいて、幼児期には成年とは異なる特徴や意義があることを学び、その違いが支援方法にも関連していることについて理解する。 担当教員：公立学校にて実務経験のある教員				
キーワード	幼児期の健康課題	幼児の体の発達	安全な生活	幼児の運動発達	
到達目標	幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 ・乳幼児期の心と体、運動発達などの健康課題を理解する。 ・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明することができる。				
	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。 ・乳幼児の体の発達の特徴を説明することができる。 ・乳幼児の基本的生活習慣の形成とその意義を説明できる。				
	安全な生活と怪我や疾病の予防について理解する。 ・幼児の安全教育・健康管理に関する基本的な考え方をもち。 ・幼児期の怪我の特徴や病気の予防について説明することができる。				
	幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。 ・乳幼児期の運動発達の特徴を説明することができる。 ・幼児期において多様な動きを獲得することの重要性を理解している。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）			地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション 乳幼児期の健康課題 - 健康の定義と乳幼児期の健康の意義、乳幼児を取り巻く生活環境と健康 -	
	【予習】	
	【復習】乳幼児を取り巻く環境についての課題と解決策についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第2回	乳幼児の身体の発達の特徴 - 乳幼児期の身体的発達の特徴、生理的機能の発達 -	
	【予習】	
	【復習】各年齢における発達段階に応じた支援のあり方についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第3回	乳幼児期の生活習慣の形成 - 乳幼児期の生活習慣の獲得及び生活リズムの形成とその意義 -	
	【予習】	
	【復習】乳幼児期の生活習慣確立のために必要な支援の在り方についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第4回	幼児期の怪我や自己の特徴と応急処置 - 幼児期に起こりやすいけがの特徴と応急処置の基礎 -	
	【予習】	
	【復習】幼児の怪我防止とその処置の方法についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第5回	乳幼児期の運動発達の特徴 - 運動コントロール能力の発達と「多様な動き」の意味、及び両者の関係 -	
	【予習】	
	【復習】各年齢における運動発達度に応じた支援の在り方についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	30分
第6回	遊びとしての運動 - 子どもにとっての遊びとして行う運動の在り方 -	
	【予習】	
	【復習】各年齢に応じた運動遊びの展開方法についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	30分
第7回	運動遊びの実践と体力・運動能力の発達 - 乳幼児期に必要な「動きの多様化」と「動きの洗練化」のために -	
	【予習】	
	【復習】現代の子どもの運動遊びを取り巻く環境についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	30分

第8回	効果的な運動遊びとその指導方法について - 乳幼児期に身に付けておくべき動作を習得するための効果的な運動遊びについて -	
	【予習】	
	【復習】 各年齢における運動遊びの指導計画についてのレポートを作成し提出する。 提出したレポートは、教員からコメントを記入して学生に返却する。	180分
第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	毎回の授業後の出席レポート(40%：1回5点×8回)、最終レポート課題(30%：30点満点)、授業時のプレゼンテーション、発表態度(30%：30点)を総合的に判断して評価する。 到達度についての評価割合： 25%、 25%、 25%、 25%		
使用資料 <テキスト>	保育者をめざすあなたへ 子どもと健康【第2版】勝木洋子・日坂歩都恵・大和晴行	使用資料 <参考図書>	コンパクト版保育内容シリーズ 「健康」, 谷田貝公昭 監修,一藝社
授業外学修等	乳幼児期の子どもの健康と安全、運動について常に注意を払い、文献やマスメディアからの情報に積極的に触れること。		
授業外質問方法	メールにて受け付ける。 金子泰子：kaneko@tuins.ac.jp オフィスアワーでも対応する。		
オフィス・アワー	水曜2限 10:50～12:20（金子研究室 E313）		